

4つの戦略にまたがる取組

「メディカル ジャパン」を活用した関西のポテンシャルの発信・強化

民間主催の医療総合展「メディカル ジャパン」にブース出展等を行い、関西の産業ポテンシャルや先進的・革新的な研究等の紹介、医療機器分野への新規参入に向けた個別相談、大学等の研究成果と企業のマッチングを目的としたセミナー等、ビジョンに掲げる戦略に基づく取組を実施します。

戦略1 世界の成長産業をリードするイノベーション創出環境・機能の強化

医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施

ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するため、医薬品医療機器等法などの取り扱い、知財や基盤技術、生産・管理、販売戦略など、事業化に向けた様々なステージにおける相談事業を実施します。

「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施

関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、企業の技術的イノベーションを促すため、大学・研究機関等の研究成果を域内外の企業に広く発信するなどし、シーズの企業化を促進します。

「バッテリー戦略研究センター」の活用促進(協調事業)

大阪府がバッテリー産業の振興のために設置する「バッテリー戦略研究センター」の域内企業の活用を促進するため、周知・広報を行います。

戦略2 高付加価値化による中堅・中小企業等の国際競争力の強化

首都圏での販路開拓支援事業

域内のものづくり中小企業の販路開拓を支援するため、関西の優れた工業製品(消費財)を消費者に向け直販する事業を首都圏において実施します。

公設試験研究機関の連携・情報の共同発信

域内の工業系公設試の共同ポータルサイト「関西ラボねっと」による、保有機器等の一元的な情報発信を行うとともに、域内企業の利便性向上を図るため、機器利用等に関する割増料金の解消を継続します。また、企業とのネットワーク形成や技術シーズのマッチングを促進するため、共同で研究会等を実施します。

ビジネスサポートデスクの共同運用(協調事業)

大阪府が世界9地域に設置する海外の企業支援拠点(ビジネスサポートデスク)を全構成府県市で共同運用し、中小企業等の海外展開を支援します。(インド、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、欧州、北米に設置)

スモールビジネスモデル共有センターによる情報発信

域内でイノベーションを起こしているスモールビジネスの優れた事例を収集し、域内企業や市町村・商工会議所等の支援機関に対し、ホームページを活用して情報発信します。

戦略3 「関西ブランド」の確立による地域経済の戦略的活性化

国内プロモーションの実施

関西の優れた工業製品(消費財)を発掘・ブランド化し、国内(域外)の大規模展示商談会に出展することで効率的・効果的なプロモーションを実施します。

海外産業プロモーションの実施

域内のものづくり中小企業の海外における販路開拓を支援するため、国内プロモーション事業で発掘・ブランド化した関西の優れた工業製品(消費財)の海外プロモーションを実施します。

戦略4 企業の競争力を支える高度人材の確保・育成

「高度産業人材に関する関西広域産学官連絡会議」の開催

産学官の関係機関との連絡会議を開催し、高度産業人材の確保・育成に関して、情報交換、意見交換を行います。

「関西産業人材 News letter」の発行

域内の大学や経済団体、企業の取組で、主として中堅・中小企業の参考となるニュースや好事例等の情報を収集した「関西産業人材 News letter」を発行し、関西全域に発信します。

*関西広域連合域内・構成府県市：産業振興分野に参画する滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
*協調事業：構成府県市・関係団体の事業を活用し、連携して実施する事業。

関西広域産業ビジョン

～日本の元気を先導する関西～



人口 **2,200.1**万人
面積 **35,005**km²
GRP **85.5**兆円 輸出入貿易額 **28.1**兆円
事業所 **1,020,685**社 大学 **155**校

今後進展する人口の大幅な減少や激化する国際的な地域間競争下において、関西産業の国際競争力を強化していくためには、国や他の自治体、産学との協力と創造による“シナジー(相乗)効果”を発揮し、関西が国内外から認知される広域経済圏(メガリージョン)を形成していくことが不可欠です。

こうした認識の下、関西広域連合広域産業振興局では、目指すべき将来像と関西が当面取り組むべき戦略を示す「関西広域産業ビジョン2011」を策定しました。

関西経済の現状と課題

グローバル(国際)化の進展

- 国際的な相互依存関係の深まり
- 国際市場における地域間競争の激化
- 有望な消費市場として注目を集めるアジア諸国

関西の相対的地位の低下

- 1970年頃～ 経済規模の対全国シェア低下
- 1975年頃～ 関西地域人口が転出超過

東日本大震災の教訓

- 国内の経済中枢機能の代替・バックアップ機能の実現にも、インフラやエネルギー需給面でのリスク対策が必要

関西経済の特徴とポテンシャル

関西経済の特徴

- アジアにおいては韓国やインドネシアなどに匹敵する経済規模
- 従業者数、GRPからみた産業構造はその約3/4が第三次産業
- 対アジア向けの輸出のシェアは他の経済圏より抜きん出て高い

関西の広域的な取組

- 近畿経済産業局、関西経済連合会、商工会議所などと相互に連携

関西経済のポテンシャル

- 歴史・文化資源や豊かな自然環境に育まれた産業資源
- 伝統産業から最先端製品まで幅広いものづくり産業・基盤技術や、クリエイティブ産業をはじめとしたサービス産業など多様な産業
- 我が国を代表する先端産業・科学技術振興拠点の立地(環境・エネルギー、ライフサイエンス関連分野)
- 空港、港湾、鉄道等の国内有数の産業インフラ面

関西が目指す将来像

以上の現状認識を踏まえ、関西広域産業ビジョン2011では、長期(20～30年先)を展望して、関西の将来像として次の3つの実現を目指します。

日本とアジアの結節点となる 〈アジアとつなぐ関西〉

アジアとの繋がりや物流・人流のインフラ、ソフトパワーを活かして、アジアから「人・モノ・金・情報」を集める結節点

日本の成長を牽引する東西二極の一極を担う 〈協創する関西〉

日本の東西二極の一極を担い、新たな協創で自らの地域魅力を高める世界に開かれたアジアの経済拠点

地域の魅力を支える豊かな生活圏を形成する 〈新たな価値を創出する関西〉

多様な歴史・文化・観光資源を活用して、新たな価値を創出する、スローで豊かな生活を実感できる生活圏

【目標】30年後の関西(広域経済圏*)の

- 経済・産業の国内シェア25%
- GRP約1.8倍(2010年度比)の約180兆円

*滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県

広域課題に対応する新たな「関西経済活性化戦略」

～日本の元気を先導するために～

関西が目指す将来像と目標の実現に向けて、関西が当面(今後10年を見据え)、取り組んでいくべき戦略として次の4つの取組に重点を置きます。

戦略1 世界の成長産業をリードするイノベーション創出環境・機能の強化

- グリーン・イノベーション、ライフ・イノベーション分野の集積の活用
- 世界のセンター機能を果たす国際的な研究開発拠点の形成

戦略2 高付加価値化による中堅・中小企業等の国際競争力の強化

- 広域的な技術支援等による経営基盤強化、成長産業参入促進
- 府県域を越えた技術、人材のマッチングなど支援機能整備を通じた成長支援

戦略3 「関西ブランド」の確立による地域経済の戦略的活性化

- 関西ブランドの確立、認知による持続的な経済発展
- アジアからの集客交流、観光資源・歴史文化的基盤・食文化の有機的連携、農商工連携促進

戦略4 企業の競争力を支える高度人材の確保・育成

- 海外市場展開を担う高いコミュニケーション能力を備えた人材、イノベーション創出環境を向上する理工系人材の確保・育成

注:表紙データは、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県の合計。
資料:総務省「人口推計」(平成28年10月1日現在)、国土交通省「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」、内閣府「県民経済計算」(平成26年度)、総務省「平成26年経済センサス」、大阪税関「貿易統計」(平成28年分)、神戸税関「貿易統計」(平成28年分)、文部科学省「平成28年度学校基本調査」からそれぞれ作成。